

陸弁表情報(甲)第一七四号

八月十九日
陸軍省新聞班

中蘇不可侵條約商議再開せらる

満洲國不承認等を含む中國提案の中蘇不可侵條約は中國の希望過大であるとの理由から三ヶ月も停頓の情態を續けて居たのであるが、蘇國大使「ボクモロフ」は最近「モスコウ」政府から重要訓令を受領したものの如く羅外交部長と不可侵條約に就いて再商議を開始した而して今回は蘇國側から草案を提出したもので其の内容には蘇國が現在迄他國と締結した不可侵條約と同一で特殊の條件はないと傳へられて居る、これは又蘇國が日本を牽制せんと策動の一端とも見られるのである

PK